

授業科目(ナンバリング)	生活支援技術 I A(介) (DA113)			担当教員	久田 貴幸		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択 (介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ ラーニング の 類 型
本演習は、尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた介護実践を行うための基礎知識を身につけることを目的とする。また、移動の意義や目的を理解し、利用者の尊厳の保持の観点から、その人の自立・自律を尊重し潜在能力を引き出し、見守りも含めた適切な介護技術を用いて支援する力を身につけ、移動・移乗を安全安楽に援助できる基礎技術や基礎知識を身につける。							④⑤⑥
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	移動についての意義・目的について理解し、説明することができる。				随時試験 (レポート)	50%	
情報収集、 分析力	移動に関する援助が必要な利用者が抱える課題など情報を収集し分析を行い、課題解決をするための思考・判断ができる。				課題レポート	10%	
コミュニケーション力	ホスピタリティの精神に基づいて、他の人の意見を傾聴するとともに、移動に係る課題について自分の意見を明確にした上で、相互理解を図る議論に参加できる。				課題レポート 課題演習	10% 10%	
協働・課題解決力	自己実現を可能にする移動に関する援助を適切に実施できる				授業におけるリフレクション	20%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
随時試験の成績を50%とし、関連の課題に対するレポートを提出させる。 授業へのリフレクションに関しては、授業ごとに学習内容や得られた知識についてミニレポート形式で提出させ、それを評価する。 レポート等へのフィードバックは、manaba や E-mail を用いて行う。							
授業の概要							
自立・自律に向けた移動・移動に関する介護についての知識や技術を教科書と配布資料を参考にして、講義と演習を交えて実施する。具体的には、ICFの視点に基づく、アセスメントのポイントや移動の意義、的確な移動・移乗支援を行う為の技術として、ボディメカニクス・体位変換・車椅子移乗・移動・車椅子の使用方法・杖選び・リフター・スライディングボードの使用方法、杖歩行時の介助、ガイドヘルプなど移動の支援方法について学び、関係するテーマに関してグループワークによる議論等を行う。1回の授業形態は、講義・演習を通して基礎知識と基礎技術の習得を目指す。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。							
教科書・参考書							
教科書：最新・介護福祉士養成講座6『生活支援技術Ⅱ』 中央法規 発行者：荘村明彦 指定図書：介護福祉士国家試験 受験ワークブック 2019 上 中央法規							
授業外における学修及び学生に期待すること							
この授業では、その人らしい生活を支える基礎である、移動・移乗の介護支援技術を学びます。自立支援や自己実現の基礎である移動・移乗は、とても大切な内容ですので予習と復習を必ず実施して、知識と技術をしっかりと身につけて欲しいと思います。演習は、介護福祉クラスの仲間と共に、恥ずかしがらずに一生懸命に取り組む、楽しく学べる雰囲気を作って欲しいと思います。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	睡眠における介護 寝床整備の技法①	安眠できる環境条件について学び、ベッドメイキングの基本であるシーツ交換の方法を理解する。	予習：「シラバス」による内容の確認 復習：シーツ交換手順確認
2	睡眠における介護 寝床整備の技法②	シーツ交換の一連の流れを理解し、反復練習を行う。	予習：ベッドメイキングの意味を考える 復習：手順再確認
3	睡眠における介護 寝床整備の技法③	シーツ交換とその他のベッドメイキングについて理解し、一人で睡眠環境の整備を行うことができる。	予習：授業前にベッドメイキングを行う 復習：自己評価を行う
4	自立に向けた移動の介護①	移動の意義と目的、移動に関する利用者のアセスメント（ICFの視点）の方法を理解する。また、介助を行う際の利用者との接し方について理解する。	予習：動けなくなった自分の生活を想像する 復習：移動の意義を再確認
5	自立に向けた移動の介護②	ボディメカニクスを意識した介護の方法を理解する。また、姿勢を安定させるための支持基底面と重心移動についても理解する。	予習：ボディメカニクスについて調べる 復習：授業内容の整理
6	自立に向けた移動の介護③	ベッド上での移動や体位変換について、全介助・一部介助の方法を体験する。	予習：ベッド上での動きを振り返っておく。 復習：反復して練習する
7	自立に向けた移動の介護④	ベッド上での起き上がりの動作について、全介助・一部介助の方法を体験する。	予習：起き上がりの基本動作を確認しておく 復習：反復して練習する
8	自立に向けた移動の介護⑤	安楽な体位を保持する介助の目的と褥瘡の予防について理解する。	予習：安楽な体位について調べる 復習：反復して練習する
9	自立に向けた移動の介護⑥	車いすの基本構造と使用方法や、立ち上がり動作における支持基底面と重心移動について理解する。	予習：立ち上がり動作について確認しておく 復習：反復して練習する
10	自立に向けた移動の介護⑦	車いすからベッドへの移動について、麻痺のある利用者の介助の方法を体験する。	予習：麻痺のある人の立ち上がりについて想像する 復習：反復して練習する
11	自立に向けた移動の介護⑧	ベッドからポータブルトイレへの移動について、麻痺のある利用者の介助の方法を体験する。	予習：車いすとポータブルトイレへの移乗の違いを考える。 復習：指導内容の再確認
12	自立に向けた移動の介護⑨	車いすでの移動の介助を体験する。	予習：車椅子点検事項を調べる 復習：指導内容の再確認
13	自立に向けた移動の介護⑩ 福祉用具の意義と活用①	移動・移乗のための道具や用具の使い方を体験し、その意義を理解する、	予習：ストレッチャーについて調べる 復習：操作方法の再確認
14	移動の介護⑪ 福祉用具の意義と活用②	片麻痺や視覚障害など様々な利用者の状態に合わせた歩行介助の方法と、歩行のための道具や用具の使用方法について理解する。	予習：歩行のための道具や用具を調べる 復習：使用方法の再確認
15	前期まとめ 福祉用具の意義と活用③	移動・移乗の介護に関する多職種連携について理解したうえで、これまでの授業を振り返る。	復習：前期内容の総復習
16	定期試験		